

時間割コード	G2B55701	開講年度	2026				
授業題目	新聞で広げる社会の見方ゼミ（信濃毎日新聞社寄付講義）					担当教員	荒井 英治郎
英文授業名	Newspapers in Society						
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・4時限	対象学生	全
講義室	共通教育401 演習室			授業形態	演習	遠隔授業科目	
						備考	【地域】
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学DP						
	的確に情報を収集し、理解し、発信する力					⇔	本授業では、新聞を通じて様々なことに興味・関心を持ち、知ろうとする習慣を習得するとともに、多様な考え方から根拠も用いて自分自身の考えをまとめ、他者に伝えることができるようになることを達成目標とする。
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働、健康長寿、防災減災、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース、ストラテジー・デザイン人材養成コース、ライフクリエイター養成コース、グローバルコア人材養成コース ・ B A S I C (日本理解)						
(4)授業の概要	本授業は、信濃毎日新聞社が実施する寄付講義である。毎回、信濃毎日新聞社の記者が講師を務める。授業内容としては、①情報を幅広く得ることの意義、新聞記事の特徴や文章術の特徴、②新聞記事のスクラップを通じたプレゼンテーション、③新聞記事を素材に課題解決を図るグループワークなどを行い、本授業では、新聞を通じて様々なことに興味・関心を持ち、知ろうとする習慣を習得するとともに、多様な考え方から根拠も用いて自分自身の考えをまとめ、他者に伝えることができるようになることを達成目標とする。						
(5)授業のキーワード	新聞、メディア、情報、社会、問題解決、地域、実務経験、グループワーク、フィールドワーク						
(6)授業計画	第1回 ガイダンス・新聞を開こう 第2回 自分と仲間を知ろう 第3回 新聞の構成と取材のポイント 第4回 信毎メディアガーデンを見学取材 第5回 信毎メディアガーデンを発信しよう 第6回 「情報とは何か」を考えよう 第7回 自分の課題意識とは何か考えよう 第8回 社説を比べよう 第9回 地方紙と全国紙を知ろう 第10回 社会の問題を出し合おう 第11回 問題解決に向けて整理しよう 第12回 問題解決へ視点を豊かにしよう 第13回 社会問題の解決と自分ができること 第14回 社会問題に向き合った班の新聞を作ろう 第15回 班の新聞の共有と審査、まとめ						
(7)成績評価の方法	レポート（6割）、リアクションペーパー・グループワーク（4割）を基本とする。						
(8)成績評価の基準	①「新聞」というメディアの特徴を理解しているか、②新聞記事等を読みスクラップすることを通じて、社会事象を複眼的に分析することができているかどうか、②読み取った情報を元に自分自身の考えを発信することができているか。 ①から③のうち、全て満たしていたら「卓越している」ないし「かなり上にある」、①から③のうち2項目を満たしていれば「やや上にある」、1項目を満たしていれば「水準にある」。						
(9)事前事後学習の内容	・新聞記事のスクラップ ・グループ内でのディスカッションのための論点整理メモの作成 ・グループ間でのディスカッションのためのプレゼンテーション準備 ・グループ間でのディスカッションを踏まえた上での考察レポートの作成 ※60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	第1回の授業において、多数の受講希望者がいる場合には、教育効果を考慮して、受講制限を行うことがあるため、初回の授業に必ず参加すること。						
(11)質問,相談への対応	教職支援センターの荒井が受け付けます。 (メールアドレス: earai@shinshu-u.ac.jp)						
(12)授業への出席	全15回の授業に出席することを基本とする。6回以上の欠席は「不可」とする。						
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	「学修の補充の対象とする事由」により受講が難しい場合は、共通教育履修案内に記載されている方法により補充を受けるための申請を行うようにしてください。						

【教科書】	特になし
【参考書】	特になし